

水道事業会計

平成30年度下半期 大竹市水道事業損益計算書

(平成30年10月1日から平成31年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	214,983,722		
(2) その他営業収益	12,930,035	227,913,757	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	101,313,520		
(2) 給配水費	44,798,955		
(3) 業務費	16,679,203		
(4) 総係費	20,352,920		
(5) 減価償却費	146,875,170		
(6) 資産減耗費	4,065,091	334,084,859	
営業損失(△)			△ 106,171,102
3 営業外収益			
(1) 受取利息	89,933		
(2) 他会計補助金	1,882,340		
(3) 負担金	12,804,151		
(4) 長期前受金戻入	48,869,646		
(5) 資本費繰入収益	621,000		
(6) 雑収益	1,339,233	65,606,303	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	7,241,197		
(2) 雑支出	0	7,241,197	58,365,106
経常損失(△)			△ 47,805,996
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	514,149		
(2) 退職給付引当金戻入額	1,610,000	2,124,149	
6 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	1,608		
(3) その他特別損失	0	1,608	2,122,541
当期純利益			△ 45,683,455
前期繰越利益剰余金			182,639,299
その他未処分利益剰余金変動額			0
当期末未処分利益剰余金			136,955,844

平成30年度大竹市水道事業貸借対照表
(平成31年3月31日)

資 産 の 部

1 固定資産	円	円	円	円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		203,423,489		
ロ 建物	333,648,578			
減価償却累計額	△ 121,386,926	212,261,652		
ハ 構築物	5,800,206,770			
減価償却累計額	△ 3,249,416,143	2,550,790,627		
ニ 機械及び装置	1,129,025,448			
減価償却累計額	△ 855,577,179	273,448,269		
ホ 車両運搬具	1,570,669			
減価償却累計額	△ 1,482,621	88,048		
ヘ 工具、器具及び備品	6,559,180			
減価償却累計額	△ 6,027,164	532,016		
ト リース資産	3,329,264			
減価償却累計額	△ 3,162,800	166,464		
チ 建設仮勘定		69,242,048		
有形固定資産合計			3,309,952,613	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		7,498,707		
無形固定資産合計			7,498,707	
(3) 投資その他の資産				
イ 長期貸付金		661,285,000		
投資その他の資産合計			661,285,000	
固定資産合計				3,978,736,320
2 流動資産				
(1) 現金預金			1,456,736,092	
(2) 未収金		31,207,497		
貸倒引当金	△ 2,120,591	29,086,906		
(3) 貯蔵品			3,426,818	
(4) その他流動資産			425,510	
流動資産合計			1,489,675,326	
資産合計				5,468,411,646

負債の部

	円	円	円	円
3 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	615,705,539			
企業債合計		615,705,539		
(2) 引当金				
イ 修繕引当金	6,790,000			
ロ 退職給付引当金	57,066,000			
引当金合計		63,856,000		
固定負債合計			679,561,539	
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	47,490,731			
企業債合計		47,490,731		
(2) 引当金				
イ 賞与引当金	4,999,816			
ロ 法定福利費引当金	958,274			
引当金合計		5,958,090		
(3) 未払金			103,939,253	
(4) その他流動負債			87,012,224	
流動負債合計			244,400,298	
5 繰延収益				
長期前受金		2,388,496,708		
収益化累計額		△ 1,314,179,401		
繰延収益合計		1,074,317,307		
負債合計			1,998,279,144	

資 本 の 部

6 資 本 金	円	円	円	円
(1) 自 己 資 本 金				
イ 固 有 資 本 金		34,905,000		
ロ 組 入 資 本 金		<u>2,021,354,623</u>		
自 己 資 本 金 合 計			<u>2,056,259,623</u>	
資 本 金 合 計				2,056,259,623
7 剰 余 金				
(1) 資 本 剰 余 金				
イ 受 贈 財 産 評 価 額		151,787,510		
ロ 工 事 負 担 金		419,430,041		
ハ 他 会 計 負 担 金		199,424,065		
ニ 補 助 金		<u>74,175,419</u>		
資 本 剰 余 金 合 計			844,817,035	
(2) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金		81,900,000		
ロ 建 設 改 良 積 立 金		350,200,000		
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		<u>136,955,844</u>		
利 益 剰 余 金 合 計			<u>569,055,844</u>	
剰 余 金 合 計				<u>1,413,872,879</u>
資 本 合 計				<u>3,470,132,502</u>
負 債 資 本 合 計				<u>5,468,411,646</u>

平成30年度下半期 注記表

I 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

- たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く。)

- ・ 減価償却の方法
 - 定額法
- ・ 主な耐用年数
 - 建物 38 ～ 65 年
 - 構築物 10 ～ 60 年
 - 機械及び装置 5 ～ 40 年
 - 車両運搬具 2 ～ 5 年
 - 工具、器具及び備品 3 ～ 20 年

(2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法(リース資産を除く。)
 - 定額法
- ・ 耐用年数
 - 施設利用権 15 ～ 20 年

(3) リース資産

- ・ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。
- ・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
地方公営企業法施行規則第55条第2号の規定により、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

- ・ 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額(58,496,000円)から、広島県市町総合事務組合における積立金相当額(1,429,000円)を控除した金額を計上している。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

- ・ 職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

- ・ 債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等により回収不能見込額を計上している。

(4) 修繕引当金

- ・ 平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

4 消費税等の会計処理

- 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II 貸借対照表等関連

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は46,117,906円である。

III リース契約により使用する固定資産

賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に関する事項

未経過リース料相当額

1年内 5,601,411 円

1年超 22,324,644 円

計 27,926,055 円

IV その他の注記

賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

平成30年度において、期末勤勉手当を支給するため、賞与引当金4,954,498円、法定福利費引当金936,009円を取り崩した。

貸倒引当金の取崩し

平成30年度において、不納欠損処理のため、1,879,736円を取り崩した。

平成30年度下半期 大竹市水道事業報告書

1. 概況

(1) 総括事項

水道事業は、給水人口の減少等による使用水量の減少に伴って、料金収入が年々減少傾向にあり、経営的には非常に厳しい状況となっています。

今年度においては、工場用、臨時用の料金収入の増加及び経費の削減等の取組により、黒字とはなりましたが、営業収支では依然として営業損失を計上しており、より一層の経費の削減等による経営の健全化が求められます。

水道事業の財政運営は、今後も一段と厳しいものになっていくものと想定されますが、施設の更新、耐震化を計画的・効率的に推し進め、水道事業のあるべき姿である「いつでも安全で安定した水の供給」の実現に向けてさらに取り組んでいきます。

① 営 業

平成30年度下半期の有収水量は、1,633,919^m（1日平均8,880^m）で、平成30年度上半期と比較して13,616^m（0.8%）の減少となりました。

② 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

本年度下半期に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・西栄三丁目・南栄三丁目地内配水管改良工事(4工区)	14,879,160円
・小方一丁目地内配水管改良工事(H30工区)	13,870,440円
・防鹿水源地日常水質モニター更新工事	16,092,000円

③ 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

平成30年度下半期における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	295,644,209円
(消費税及び地方消費税抜き)	支出総額	341,327,664円
	差引利益額	▲45,683,455円
資本的収支	収入総額	43,478,564円
(消費税及び地方消費税込み)	支出総額	126,911,768円
	差引不足額	83,433,204円

(2) 議会の議決事項

① 予算決算に関する事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第 9号	平成31年度大竹市水道事業会計予算	H31. 3. 22

② 条例に関する事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第12号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理について	H31. 3. 7
議案第22号	大竹市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について	H31. 3. 7

(3) 職員に関する事項

① 職員の平均給与

平均給料月額	平均年齢	平均勤続年数	人員	備考
313, 310	41歳7ヶ月	15年7ヶ月	10名	

② 市長の同意を必要とする主要職員の任免

該当事項なし

③ 給与改定

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正に伴う「大竹市上下水道局職員の給与の支給に関する規程」の一部改正により給料表を改定し、平成30年4月1日から施行しました。

(4) 料金その他供給条件の設定, 変更に関する事項

該当事項なし

2. 工事の概況

(1) 建設工事及び改良工事の概況

※平成30年度通期

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
(原水浄水設備改良事業)		円	年月日	
防鹿水源地浅井戸濁度計更新工事	浅井戸濁度計取替 一式	1,044,360	H30. 4. 27 H30. 6. 26	
防鹿水源地ケーブル増設工事	ケーブル布設工 一式	604,800	H30. 9. 18 H30. 10. 30	
防鹿水源地2号緩速ろ過池水位計更新工事	2号緩速ろ過池水位計取替 1本	864,000	H30. 10. 16 H30. 12. 20	
防鹿水源地4号緩速ろ過池濁度計更新工事	4号緩速ろ過池濁度計取替 1本	1,044,360	H30. 9. 25 H31. 2. 14	
防鹿水源地原水・浄水水質監視機能増設工事	原水水質監視機能 濁度・色度・PH測定, データロガ機能増設 一式 浄水水質監視機能 濁度・色度・PH測定, データロガ機能増設 一式	2,160,000	H30. 12. 10 H31. 3. 15	
防鹿水源地2号緩速ろ過池濁度計更新工事	2号緩速ろ過池濁度計取替 1本	1,044,360	H30. 12. 3 H31. 3. 19	
三ツ石調整池吊り上げ装置設置工事	吊り上げ装置設置 一式	502,200	H31. 2. 26 H31. 3. 26	
防鹿水源地遠方監視装置(玖波系)更新工事	玖波配水池遠方監視装置更新 一式 唐船浜配水池遠方監視装置更新 一式 小浦台配水池遠方監視装置更新 一式	9,828,000	H30. 9. 5 H31. 3. 29	
防鹿水源地日常水質モニター更新工事	原水用(濁度・色度・PH)水質モニター更新 一式 浄水用(濁度・色度・PH)水質モニター更新 一式	16,092,000	H30. 10. 15 H31. 3. 29	
小 計		33,184,080		

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
(配水設備改良事業)		円	年月日	
東栄一丁目地内配水管 改良工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=32.0m 既設配管撤去工 塩化ビニル管(VPφ25) L=32.0m	1,299,240	H30. 6.13 H30. 8.31	
西栄三丁目地内配水管 改良工事 (H30工区)	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=105.98m 硬質塩化ビニル管(HIVPφ25) L=1.4m 既設管撤去工 塩化ビニル管(VPφ50) L=105.98m	3,468,960	H30. 7.13 H30.10. 5	
阿多田加圧ポンプ減圧 弁設置工事	減圧弁設置 一式	464,400	H30.10. 4 H30.10.18	
玖波配水池可搬式追塩 装置設置工事	追塩装置設置 一式	475,200	H30. 9. 6 H30.10.19	
城山ポンプ室2号揚水ポ ンプ改修	2号揚水ポンプ改修 一式	1,112,400	H30.10.16 H31. 1. 7	
小方一丁目地内配水管 改良工事 (H30工区)	配水管布設工 鋳鉄管(DCIP GXφ200) L=4.5m ポリエチレン管(HPPEφ150) L=123.3m ポリエチレン管(HPPEφ75) L=125.8m ポリエチレン管(HPPEφ50) L= 4.8m 既設配水管撤去工 鋳鉄管(CIPφ150) L= 8.0m 鋳鉄管(CIPφ75) L=34.0m 塩化ビニル管(VPφ25) L=62.0m	13,870,440	H30. 9.26 H31. 2.28	
西栄三丁目・南栄三丁 目地内配水管改良工事 (4工区)	配水管移設工 ポリエチレン管(HPPEφ150) L=150.55m ポリエチレン管(HPPEφ100) L= 2.83m ポリエチレン管(HPPEφ75) L= 5.00m 硬質塩化ビニル管(HIVPφ50) L= 2.0m 既設配水管撤去工 鋳鉄管(CIPφ150) L=325.00m	14,879,160	H30.11. 8 H31. 3. 8	
新町一丁目地内配水管 改良工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=6.7m 既設管撤去工 鋳鉄管(DIPφ75) L=6.7m	1,056,240	H30. 9.25 H31. 3.15	
東栄一丁目地内配水管 緊急改良工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=2.3m 既設管撤去工 塩化ビニル管(VPφ50) L=2.3m	1,138,320	H30.10.24 H31. 3.15	
御園台地内配水管緊急 改良工事 (H30工区)	配水管移設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=60.7m 既設配水管撤去工 鋳鉄管(DIPφ75) L=55.7m 塩化ビニル管(VPφ50) L=5.0m	4,695,840	H30.12.25 H31. 3.29	
防鹿地区管渠布設工事 に伴う上水管移設工事	配水管移設工 ポリエチレン管(HPPEφ150) L=186.85m 既設配水管撤去工 鋳鉄管(MDIPφ150) L=186.85m	8,719,320	H29.10.25 H30. 7.31	平成29年度 繰越事業
小 計		51,179,520		
合 計		84,363,600		

(2) 保存工事の概況

※平成30年度通期

区 分	工 事 内 容	工 事 費			備 考
		修繕費等	材料費	計	
原 水 及 び 浄 水 設 備	防鹿水源地上水2号 送水ポンプ用電動機修繕 外11件	6,779,808	0	6,779,808	
給 配 水 設 備	阿多田本土側流量計変換 機取替修繕外48件	19,116,000	0	19,116,000	
量 水 器 設 備	量水器取替工事 (委託)	3,682,060	0	3,682,060	
合 計		29,577,868	0	29,577,868	

3. 量水器の設置及び取替状況

種 別	前年度末 設置数	当 年 度 設置数	当 年 度 減少数	年度末現在 設置数	当 年 度 取替個数
13mm	7,982	42	22	8,002	404
20mm	5,962	92	1	6,053	870
25mm	659	0	0	659	31
40mm	191	0	1	190	7
50mm	87	0	1	86	10
75mm	24	0	0	24	5
100mm	14	0	0	14	1
150mm	3	0	0	3	0
合 計	14,922	134	25	15,031	1,328

3. 業 務

(1) 業務量

① 年度末給水戸数及び給水人口

年度別 種別	平成31年3月31日		平成30年9月30日		比 較			
	給水 戸数	給水 人口	給水 戸数	給水 人口	給水戸数		給水人口	
					増 減	比 率	増 減	比 率
上水道	戸 12,488	人 26,448	戸 12,494	人 26,689	戸 △ 6	% 100.0	人 △ 241	% 99.1

② 配水量及び有収水量

種 別	年度別	平成30年度下半期	平成30年度上半期	比 較	
				増 減	比 率
配水量	水源地	m ³ 1,629,940	m ³ 1,652,769	m ³ △ 22,829	% 98.6
	県用水	377,435	379,861	△ 2,426	99.4
	合 計	2,007,375	2,032,630	△ 25,255	98.8
1日平均配水量		10,910	11,230	△ 320	97.1
1日最大配水量		H30.12.31 12,333	H30.2.8 13,846	△ 1,513	89.1
有 収 水 量		1,633,919	1,647,535	△ 13,616	99.2
1日平均有収水量		8,880	9,102	△ 222	97.6
有 収 率		81.4%	81.1%	0.3%	100.4

※上水道は、2ヶ月後に料金が賦課されるので、配水量は2月から1月までが年度期間。

4. 会 計

(1) 重要契約の要旨

① 工事請負契約

※平成30年度通期

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
	円		
H30. 9. 26	16,092,000	小方一丁目地内配水管改良工事 (H30工区)	田中建設工業㈱
H31. 2. 11	△2,221,560 (13,870,440)		
H30. 10. 15	16,092,000 (16,092,000)	防鹿水源地日常水質モニター更新工事	水ing㈱中国営業所
H30. 11. 8	14,785,200	西栄三丁目・南栄三丁目地内配水管改良工事 (4工区)	(有)アール・コーポレーション
H31. 2. 28	93,960 (14,879,160)		

二段書きは上段が当初契約，下段が変更契約，（）内は合計額

② 業務委託契約

※平成30年度通期

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
	円		
H27. 3. 18	511,920,000	大竹市防鹿水源地等運転管理業務 (工業用水道事業との共同契約額) 契約期間：H27. 4. 1～H32. 3. 31	(株)ジェイ・チーム 西部支店
H28. 3. 31	△194,922		
H29. 3. 31	△3,237,890		
H30. 3. 31	722,632		
H31. 3. 31	4,438,703 (513,648,523)		
	76,544,391	上記のうち平成30年度水道事業対象額	

多段書きは上段が当初契約，二段目以降が変更契約，（）内は合計額

③ その他の契約

該当事項なし

(2) 企業債及び一時借入金の概況

① 企業債の概況

※平成30年度通期

区 分	借 入 先	前年度末残高	当年度借入高	当年度償還高	当年度末残高
水道事業	財 務 省	円 182,036,235	円 0	円 23,008,737	円 159,027,498
	地方公共団体 金融機構	494,714,947	33,000,000	23,546,175	504,168,772
	合 計	676,751,182	33,000,000	46,554,912	663,196,270

② 一時借入金の概況

該当事項なし

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

(4) 受贈財産の取得状況

※平成30年度通期

受贈年月日	種類		譲渡者名	受贈財産評価額
H30. 8.13	配水管	白石一丁目地内 H P P E φ50 L=18.49m H I V P φ25 L=10.60m ワトシール仕切弁 φ50 4基 (BOX含む)	中日ホーム販売(有)	円 1,764,000
合 計				1,764,000